



日本・インドネシア共和国 国交50周年記念

インドネシア更紗のすべて — 伝統と融合の芸術

All about Batik
Art of Tradition and Harmony



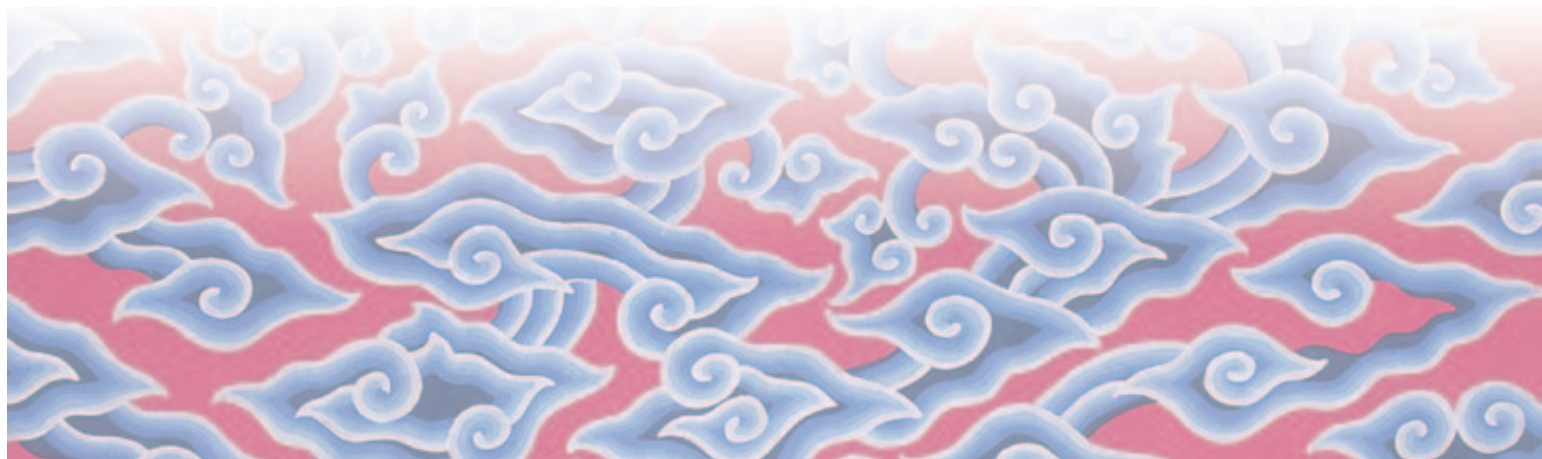
平成20年

8/1(金) → 9/15(月・祝)

細見美術館

開催要綱

- 1 展覧会名 インドネシア更紗のすべて—伝統と融合の芸術
- 2 主催 細見美術館、朝日新聞社
- 3 監修 戸津正勝(国士舘大学教授)
- 4 助成 国際交流基金
- 5 協賛 国士舘大学
- 6 後援 インドネシア大使館、日本インドネシア協会、
インドネシア日本友好協会プルサダ(インドネシア元日本留学生会)、
インドネシアバティック協会、ジョクジャカルタ王宮、
マンクヌガラ王宮(スカルタ)、プカロンガン市
京都府教育委員会 京都市教育委員会
NHK京都放送局
- 7 会期 平成20年8月1日(金)～平成20年9月15日(月)
- 8 休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
- 9 入館料 一般1000円(800円)
学生800円(600円)
()内は20名以上の団体料金
- 10 会場 細見美術館
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
電話075-752-5555



趣旨

今年、日本とインドネシア共和国は国交50周年を迎えます。
また、京都府はジョクジャカルタ特別区と友好提携を結んでいます。この記念すべき年に当館では、王宮をはじめとする
諸機関のご協力を得て、インドネシアの伝統的な染織品で
ある更紗「バティック」の歴史と魅力を紹介します。

インドネシアの美

世界第4位の人口を誇り、300以上の民族から成るインドネシア。
東西約5,000キロにおよぶ広大な熱帯海域には、17,000以上の大小の島があり、更紗や絣、刺繍といった多彩な染織文化が息づいています。

バティックとは

インドネシアでは、蠟による防染を繰り返して複雑な文様を染め上げていく「ぼうせん 臙纈染め」のことをバティックと呼んでいます。日本では「インドネシア更紗」と呼ばれ親しまれてきました。

コレクションについて

本展は京都・西陣のご出身で、アジア地域研究を専門とされる国士舘大学教授 戸津正勝氏の30年に及ぶ膨大なコレクションによって構成されます。インドネシア諸地域の古い伝世品から現代作家の作品まで、様々なバティックの美しさをこの機会に是非ご堪能下さい。



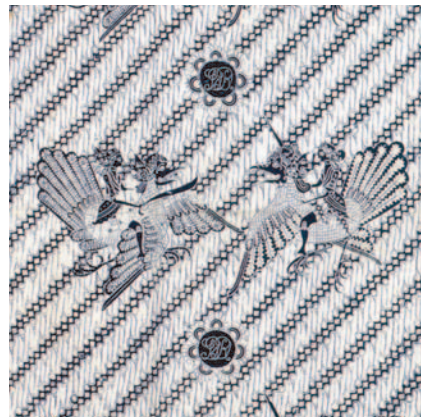
主な展示作品



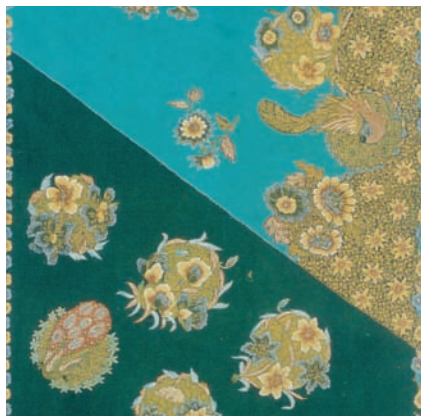
パラン文腰衣



ワヤン文腰衣



パラン文腰衣



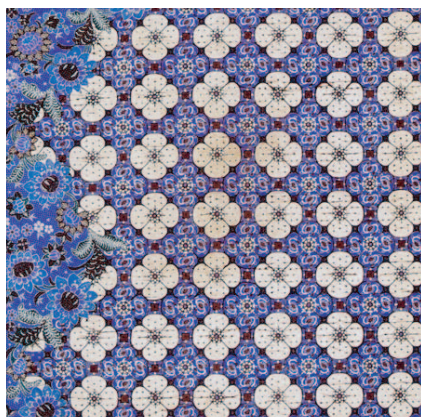
団花文腰衣



狩獵文筒型腰衣



花鳥文腰衣



七宝文腰衣



花束文筒型腰衣



クバヤ

お問合せ先

細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 Tel 075-752-5555 Fax 075-752-5955
E-mail hosomi@emuseum.or.jp <http://www.emuseum.or.jp>
広報担当: 三宅 由紀